



質問者



松本 一二美 議員

問

松前町を
ひまわり畑にしよう

転作、休耕田にひまわりの栽培をしよう。ひまわりの栽培で、地域の連帯と活性化を図り、循環型社会を目指そう。種から搾取してディーゼルエンジン燃料、葉や根は堆肥、茎はパルプ材に。農業、観光、環境で町おこしをしよう。

答

松前町の
農業形態では難しい
答弁 白石町長

農地利用は、所有者・耕作者の協力が必要。農機具での作業、堆肥の管理、人的・経済的問題があります。今後も、松前町花・ひまわりを使った町のイメージアップ事業を継続しておこないます。季節を通じて、ひまわりが咲いている松前町に。夢のある町づくりを進めていきます。

問

学校給食に地産地消
を取り入れて

地場産物を使った給食の実施を。子どもたちが地元の農産物に関心を持ち生産者に感謝の気持ちを持つような取り組みを。年1回・すべて地元の産物を使った給食の日をつくってはどうか。

答

昨年度から開始
答弁 得能給食センター所長

町内児童・生徒に対し、1日3,000食の給食を配食、地場産の野菜を積極的に購



給食センター

入。学校でも生産現場の見学、学習を行い、生産者への感謝の気持ちを持つことの大切さを教えています。

愛媛県では、平成15年から愛媛の食材を活用した学校給食週間がスタート。松前町でも16年1月実施。地元の農産物を、校内放送で紹介。この週間を利用して地域に根ざした食育活動を推進します。

問

福祉バスでお年寄り
に元気と楽しみを

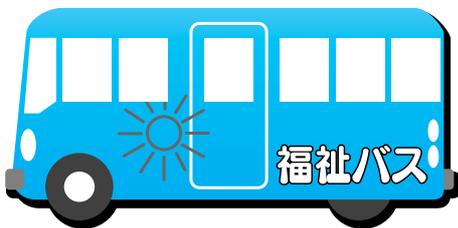
福祉バスを利用。日帰りお楽しみバスとして少し遠いところでも、ご近所、地域のか

答

運営委員会で検討
答弁 永田福祉課長

現行の福祉バスでは、目的外利用となり、バス運営委員会での検討事項となります。その過程で関係法令への適正法や確認、調整が必要です。

たと一緒に出かけられます。元気で長生き効果、お友達とふれあい効果、引きこもり防止効果。大字ごとに予約で申し込み。バス利用は無料。土、日、祝祭日に福祉バスの有効利用で、お年寄りを元気にしましょう。



問

合併しない松前町の
組合事業について

共立衛生組合、ごみ処理施設管理組合、養護老人ホーム組合など、合併をしない松前町の参加は、他の市町村との兼ね合いはどうなるのか。規約の改正が見込まれるが、それぞれの負担金はどうなるのか。住民への周知はどうするのか。

答

今後も継続
答弁 石川助役

市町村合併により構成市町村数は減少しても、共同処理する事務事業は、今後も継続。引き続き組合に加入し、効果的、効率的な事務処理を行います。

負担は均等割と、人口割があり、構成市町村の合併後に協議し、見直します。住民への周知は、その都度広報等でお知らせします。